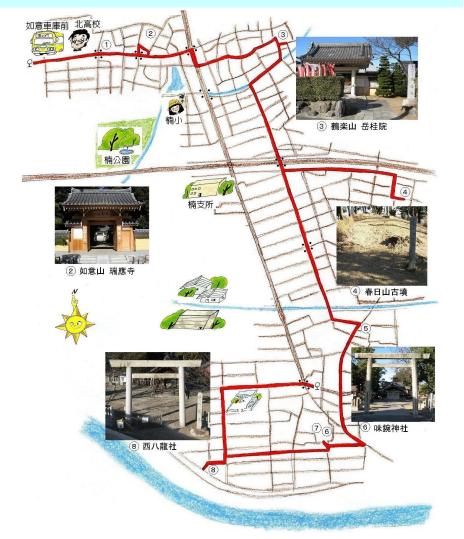
5 楠の里散策コース 約 6.3km

如意地名由来の大井神社。夢窓疎石 (夢窓 国師)が開山の瑞應寺。田園風景の残る楠 味鋺は、原始時代の尾張文化の中心であっ

た。それを示す数多い古墳群の出土品を保存している味鋺神社、護国院を経 て西八龍社までの散策路。



① 大井神社

往昔大井天神と称し、延喜式神名帳に山 田郡大井神社とあり、和銅・養老年間 (708~23) に勧請したとある。昔、観

音堂に安置 されていた 如意輪観音 が、如意の 地名になっ たといわれ る。



② 如意山 瑞應寺

もとは「瑞竜寺」といい、夢窓疎石(夢 窓国師)の創建といわれる。境内北の墓 地には、南朝の雄であり後に味鋺と如意 の領主となった石黒大炊助重行の墓が ある。

③ 鶴楽山 岳桂院

本尊は、阿弥陀仏。室町時代末期の創建 で、庄内川のはんらんによって現地に移 る。無縁仏塔の頂きに六体の六地蔵があ るが、楠町のみにあるもので、刻銘は元 禄7年(1694)の古いもの。

④ 春日山古墳

二子山・白山とならぶ味美古墳群の一つ で、5世紀代の大規模な前方後円墳。庄 内川流域を生活の場とした物部一族の 時代がしのばれる。

⑤ 首切地蔵(身がわり地蔵)

"文政"(1818~30)の銘がある石地蔵。 郷士一ノ曽五左衛門 の邪剣によって切ら れようとした女中の 身がわりとなり、胴 体を二分されたとい う伝説がある。



味鋺神社

延喜式神名帳に名が残る。白山藪古墳 出土の古鏡が神宝。寛治7年(1093) に競馬の神事が催されたのが始まり やぶさめ で、戦前は例年流鏑馬が行われた。境

内に稲置街道の石橋(清正橋)が保存 されている。

⑦ 味鏡山 天永寺護国院

僧行基が、自ら刻んだ薬師如来座像を本 尊に建立した薬師寺が前身である。薬師

如来を始め 古鏡、大般 若経 600 巻 などの寺宝 が残る。



西八龍社

通称「かみなり神社」。古来から、雷除 け・日乞いの神として有名。創建は、朱 雀天皇の御代と伝えられる。

 $1.300 \, \mathrm{m}$ 200m 800m $1.400 \, \mathrm{m}$ $750 \mathrm{m}$ 20m 650m

→ ①大井神社 → ②如意山 → ③鶴楽山 → ④春日山古墳 → ⑤首切地蔵 瑞應寺 岳桂院

(身がわり地蔵)

→ ⑥味鋺神社 → ⑦味鏡山 天永寺護国院

900m → ⑧西八龍社 →

市バス 味鋺

市バス 如意車庫前